

## シプロフロキサシン注射液の予備容量



ニューキノロン系注射用抗菌剤 シプロフロキサシン注射液は、

効能・効果

<適応菌種>

本剤に感性のブドウ球菌属、腸球菌属、炭疽菌、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、緑膿菌、レジオネラ属

<適応症>

敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、炭疽

1回 400mgを1日2回、1時間かけて点滴静注する。患者の状態に応じて1日3回に増量できる。

の適応がある、抗菌剤です。シプロフロキサシン注射液「NP」には、

### 原則希釈

と言う表示があります。このバッグ製剤は、どの程度の量が、1本に入るのでしょか。

**この薬剤の予備容量は、「203ml」です。**

(予備容量とは、元々入っている100ml以外に203ml入ると言う意味です)

したがって、下記のような処方の場合には、1本にまとめて構いません。

「シプロフロキサシン注射液」2本 + 生理食塩水 100ml (合計 300mlなので、まとまります)



左のセットはすべて1つに出来ます。

より安全な医療をみんなで行っていきましょう!!